

後年度・中期目標事業沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和7年3月

那覇市	1	嘉手納町	－
宜野湾市	1	北谷町	9
石垣市	2	北中城村	9
浦添市	2	中城村	10
名護市	2	西原町	11
糸満市	4	与那原町	11
沖縄市	4	南風原町	12
豊見城市	5	渡嘉敷村	12
うるま市	5	座間味村	12
宮古島市	5	粟国村	13
南城市	6	渡名喜村	13
国頭村	7	南大東村	13
大宜味村	－	北大東村	14
東村	7	伊平屋村	14
今帰仁村	7	伊是名村	－
本部町	8	久米島町	15
恩納村	8	八重瀬町	15
宜野座村	－	多良間村	15
金武町	8	竹富町	15
伊江村	8	与那国町	16
読谷村	8		

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
01 那覇市	H29		1 12	第一牧志公設市場再整備推進事業	後年度	R5	那覇市の中心市街地においては、第一牧志公設市場を中心としたマチグーが観光地として魅力を高める拠点となっている。同市場を再整備することにより、観光振興に寄与し、観光客の誘客を図る。	【R5成果目標】 年間来訪者数 256万人 ※R5事業はR6へ繰越	後年度発現シートにて検証	年間来訪者数 172万人	未
01 那覇市	R3		1 20	外国人観光客受入整備事業	未検証	R5	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	5年度検証シートで後年度効果発現成果目標を検証済	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか:58%	未
01 那覇市	H30	繰	1 36	貸切バス乗降場・待機場整備事業	未検証	R5	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図る。	【R5成果目標】 貸切バス乗降場・待機場の年間利用台数 50台	後年度発現シートにて検証	貸切バス乗降場・待機場の年間利用台数 266台	◎
01 那覇市	R4		3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	後年度	R5	販路開拓の前段となる商談会へ出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	実施年度翌年末(令和4年度助成の場合は令和5年12月末)に実績報告後の状況確認のため成果報告書の提出を義務付けている(平成27年度より)。成果報告書の結果を踏まえて、本事業の実施により、中小企業の振興と雇用の拡大に繋がっているか検証していく。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	助成実施翌年度(令和5年度)に各助成事業者から成果報告書を徴取したところ、成約件数については136件、成約金額については15,187,601円、雇用については合計23名の雇用拡大につながった。	◎
01 那覇市	R4		3 8	新商品開発支援事業	後年度	R5	那覇市の観光・地域資源を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	新商品企画・開発・テストマーケティング実施。5件以上セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発に役立った」旨の回答割合を80%以上。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	新商品企画・開発・テストマーケティング実施:24件 セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発に役立った」旨の回答割合:92.5%	◎
01 那覇市	R4		11 3	大規模火災等対応資機材整備事業新	後年度	R5	首里城火災等に代表されるような異常な高温を伴う大規模火災や中心市街地等の密集地域における消防活動困難地域において、県民及び観光客の身体を火災等の外的危険から早期救出し、保護することを目的として資機材の整備を行う。	R4年度策定した資機材管理指針及びマニュアル等運用計画に基づく配備・訓練・運用開始	後年度発現シートにて検証	・令和5年4月1日から運用開始 ・延焼防止水幕防御システムを各署所に配備 ・熱画像直視装置を消防隊及び救助隊に配備 ・空気ボンベ充填用コンプレッサーを神原分署に配備 ・延焼防止水幕防御システムの訓練 3回	◎
02 宜野湾市	H29		1 1	道路景観整備事業	未検証	R5	はごろも祭りやプロ野球キャンプ、コンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立野球場や屋外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として整備することで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	後年度発現シートにて検証	団体100%、観光客(市民含む)93%	◎
02 宜野湾市	H29		1 5	文化財説明板・標識設置事業	後年度	R5	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財等の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	地域文化財を活用した学習会等への参加人数	後年度発現シートにて検証	地域文化財を活用した学習会等への参加人数 294人	◎
02 宜野湾市	H29		3 1	文化財保存整備事業	後年度	R5	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	地域文化財を活用した学習会等への参加人数	後年度発現シートにて検証	地域文化財を活用した学習会等への参加者数 294人参加	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
02 宜野湾市	R3		5 ①	市民防災事業	後年度	R5	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄や、自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。国土強靱化地域計画等を策定することにより、自然環境と共生しながら災害リスクを軽減する宜野湾市に適した減災地域社会を形成する。	毎年、整備した防災情報システムを活用した避難訓練を年に3回以上は実施することを目標とする。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	整備した資機材を活用した防災訓練を年5回実施。	◎
03 石垣市	H29		2 3	平久保半島エコロード整備事業	未検証	R5	歩行者空間と自転車空間のネットワークを形成するための計画を策定する。	【R5成果目標】エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人	後年度発現検証シートにて検証	トレイルラン、ウォーク大会未実施	未
03 石垣市	H29	繰	2 6	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	未検証	R5	観光客の受け入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備を図る。	【R5成果目標】利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	後年度発現検証シートにて検証	利便性が確保されたと回答した割合:30%	未
03 石垣市	R4		3 2	ひとり親家庭生活支援事業	後年度	R5	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせ実施する。	支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	自立した世帯の割合:0%	未
03 石垣市	H28	繰	2 1	旧空港跡地環境影響評価事業	未検証	R5	旧石垣空港跡地の有効利用を図るため、土地区画整理事業を実施するために必要な環境影響評価を実施する。	旧空港跡地約50haの有効活用	後年度発現検証シートにて検証	有効活用した旧空港跡地:0ha	未
04 浦添市	H29		12 2	里道及び水路の境界確定復元事業	未検証	R5	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	後年度発現シートにて検証	公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	未
04 浦添市	R3		5 ①	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	未検証	R5	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未検証のためR6年度に検証実施	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	－
05 名護市	H29	繰	5 ③	名護市食鳥処理施設整備事業	後年度	R5	新たな食鳥処理施設の整備に必要となる用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	・処理羽数(食鳥処理施設):17,000羽/日	後年度発現シートにて検証	処理羽数:14,852羽/日	○
05 名護市	H30		2 ⑥	名護・やんばるの自然と文化拠点施設整備事業	後年度	R5	名護・やんばるの観光振興及び自然や文化の保全・継承に寄与することを目的として、地域の自然と文化に関する情報収集、発信、研究などの機能を備えた総合的なガイダンス拠点となる施設を整備する。	・利用客数:2.4万人以上	後年度発現シートにて検証	利用客数:36,489人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
05 名護市	R1		9 ①	スポーツ力向上促進事業	後年度	R5	市民が夢・希望・勇気・感動を享受できる環境づくりを目指し、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室及び講演会、指導者講習会並びにスポーツ交流等の様々な体験事業を通して、青少年の健全育成や競技力の向上、健康増進など、スポーツを通じた地域振興を図る。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,209名	○
05 名護市	R2		8	スポーツ力向上促進事業	後年度	R5	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,209名	○
05 名護市	R3		7	スポーツ力向上促進事業	後年度	R5	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,209名	○
05 名護市	R4		6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R5	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,209名	○
05 名護市	R1		11	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	後年度	R5	二見以北地域の住民及び観光客の公共交通に係る利便性を確保するため、持続可能で安定した公共交通の導入に向けたデマンド型の乗合タクシー及びコミュニティバスの実証実験を行う。	【R5成果目標】コミュニティバス年間利用客数24,000人	後年度発現シートにて検証	コミュニティバス年間利用客数:23,356	○
05 名護市	R2			名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	後年度	R5	利用可能な公共交通機関が限られており、自家用車中心の交通移動手段にならざるを得ない、二見以北地域及び名護市街地の一部のエリアにおいて、持続可能で安定した公共交通の導入を目指し、コミュニティバスの本格運行に向けた検証を行う。			事業未実施	
05 名護市	R3			名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	後年度	R5	利用可能な公共交通機関が限られており、自家用車中心の交通移動手段にならざるを得ない、二見以北地域及び名護市街地の一部のエリアにおいて、持続可能で安定した公共交通の導入を目指し、コミュニティバスの本格運行に向けた検証を行う。			事業未実施	
05 名護市	R4		7	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	後年度	R5	及び名護市街地の一部のエリアにおいて、持続可能で	【R5成果目標】コミュニティバス年間利用客数24,000人	後年度発現シートにて検証	コミュニティバス年間利用客数:23,356	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
05 名護市	R4		4 2	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画策定事	後年度	R5	本市で飼養が盛んな山羊の流通強化及び消費拡大を図るための拠点形成に向けた基本計画を策定する。	【R5成果目標】 山羊品評会の開催	後年度発現シートにて検証	山羊品評会:実施	◎
06 糸満市	H30		4 2	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	後年度	R5	安定した公共交通の導入を目指し、コミュニティバス	【R5成果目標】 ・地域発信エリア年間利用者:2.5万人 ・継承体験エリア年間利用者:2.2万人 ・創造発信エリア年間利用者:4万人	中期的検証事業に併せて検証(中期的シート記載)	合計年間利用者:158244人	◎
06 糸満市	R1	繰	1 ②	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	後年度	R5	の本格運行に向けた検証を行う。	【R4成果目標】 ・地域発信エリア年間利用者:2.5万人 ・継承体験エリア年間利用者:2.2万人 ・創造発信エリア年間利用者:4万人	中期的検証事業に併せて検証(中期的シート記載)	合計年間利用者:161692人	◎
07 沖縄市	H29		7 ①	里道および水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	策定した(仮)沖縄市法定外公共物整備計画の中で、個人敷地に占有されている里道・水路の占有手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。	後年度発現シートにて検証	・道の機能が無く、誤信使用されている里道の売払い又は市道潰れ地との付替え 目標10件:実績8件 ・水路の機能が無く、誤信使用されている水路の売払い 目標2件:実績1件	未
07 沖縄市	R1		7 ①	里道および水路の境界確定復元事業	後年度	R5	里道・水路の占有許可・用途廃止等を行うにあたり、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道及び水路の位置を確定する。	策定した(仮)沖縄市法定外公共物整備計画の中で、個人敷地に占有されている里道・水路の占有手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。	後年度発現シートにて検証	・道の機能が無く、誤信使用されている里道の売払い又は市道潰れ地との付替え 目標10件:実績8件 ・水路の機能が無く、誤信使用されている水路の売払い 目標2件:実績1件	未
07 沖縄市	R3	繰	7 ①	里道の境界確定復元事業	後年度	R5	里道・水路の占有許可・用途廃止等を行うにあたり、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道及び水路の位置を確定する。	策定する(仮)沖縄市法定外公共物管理計画の中で、個人敷地に占有されている里道・水路の占有手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。	後年度発現シートにて検証	・道の機能が無く、誤信使用されている里道の売払い又は市道潰れ地との付替え 目標10件:実績8件 ・水路の機能が無く、誤信使用されている水路の売払い 目標2件:実績1件	未
07 沖縄市	R4		11 ①	沖縄こどもの国推進事業	後年度	R5	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客促進のため、沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画を策定する。	入園者数 75万人	後年度発現シートにて検証	入園者数 59万人	○
07 沖縄市	R4		1 ①	新商品開発等支援事業	後年度	R5	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、バイヤーを招へいた商談会等、新商品開発を行う事業者を総合的に支援する。	新商品販売額 300万円	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	新商品販売額 856万円	◎
07 沖縄市	R4		7 ①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	後年度	R5	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の作成を行う。	跡地利用計画(素案)策定後、地権者や市民等の「肯定的な評価」80%以上	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	-	-

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
08 豊見城市	R4		1 5	豊見城市観光PR事業	後年度	R5	首都圏及び地方大都市で、駅構内での物産展やトレインジャック広告、特産品の配布、本市に関連するノベルティの配布等を行い、豊見城市の更なる認知度向上を図る。	【R5成果目標】 令和5年度入域観光客数710万人	現年事業に合わせて検証(現年シートに記載)	令和5年度入域観光客数:8,235,400人	◎
08 豊見城市	R4		5 2	豊見城市民体育館機能強化事業	後年度	R5	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設など、施設の機能強化を行い、ナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催などのスポーツコンベンションの誘致を促進し、観光振興を図る。	【R5以降の成果目標】 スポーツコンベンション誘致件数:3件/年	後年度発現シートにて検証	スポーツコンベンション誘致件数:4件/年	◎
09 うるま市	R4		2 ②	地域雇用人材育成事業	後年度	R5	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率90%以上(1年後)	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率60%	未
09 うるま市	R4		3 ⑦	サイクルツーリズム推進事業	後年度	R5	モデルルート上の環境整備(協力店舗等へのサイン、工具等の設置)WEBサイト、SNS等による情報発信	【R5年度】 サイクリストの来訪者数300人以上	後年度発現シートにて検証	【R5年度】 サイクリストの来訪者数330人	◎
09 うるま市	R4		4 ①	津堅島農業活性化事業	後年度	R5	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	【R5成果目標】 津堅ニンジン生産量 1.5t/10a 【R6成果目標】 策定した農業再生・活性化プランの中で、誘致企業数や新規就農者数など担い手確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした振興及び活性化策を実施する。2人	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	【R5年度】 津堅ニンジン生産量 0.8t/10a	未
09 うるま市	R4		10	自主防災組織強化事業新	後年度	R5	自主防災組織における防災士の資格取得支援をはじめ、防災教育や防災訓練、防災資機材の点検や整備を行い、災害時における地域の組織力の醸成を目的とする。	【R5～8】 防災士取得(各年度24人)	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	防災士取得18人	○
09 うるま市	R3繰	繰	12	新たな交通システム検討調査事業	後年度	R5	公共施設間連絡バス現行ルートの検証及び見直し、既存バスや離島航路との結節、市民ニーズを整理し、地域特性に応じた運行形態による実証実験を踏まえ、新たな公共交通システムの導入に向けた検討調査を行う。	年間利用客数22,500人	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	年間利用客数28,935人	◎
09 うるま市	R4		3 ⑨	モータースポーツ振興可能性調査事業	後年度	R5	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、本市におけるモータースポーツ振興の導入可能性について基礎調査を行う。	【R5成果指標】 実証イベント参加者数5,000人	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	【R5成果指標】 実証イベント参加者数1,637人	未
10 宮古島市	R1		1 ⑤	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	後年度	R5	観光誘客を図るため、トロピカルフルーツパークの熱帯果樹の植栽と加工・研修施設整備の基本設計を行う。	供用開始後1年目(令和5年度)の目標を以下のとおりとする。 年間利用客数49,474人	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
10 宮古島市	R2		1 ③	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	後年度	R5	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、官民協働による機能強化整備を行う。	供用開始後1年目(令和5年度)の目標を以下のとおりとする。 年間利用客数49,474人	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－
10 宮古島市	R2		11 ②	幼保連携型認定こども園整備事業	後年度	R5	働く保護者等の育児負担の軽減を図るため、伊良部地区に公立幼保連携型認定こども園を整備する。	負担が軽減されたか(80%以上)を含め、利用児童の保護者等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－
10 宮古島市	R4		7 ①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	後年度	R5	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港における航空貨物取扱量:630t/年	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	下地島空港における航空貨物取扱量:140.4t/年	未
10 宮古島市	R4		8 ①	地下水保全調査事業	後年度	R5	本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。	東添道地下水流域面積の特定	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	特定 12.66km ² →13.02km ² (0.36km ² 増)	◎
10 宮古島市	R4		6 ③	宮古島文化ホール舞台設備等機能強化事業	後年度	R5	宮古島市文化ホールの舞台設備を機能強化し、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場を確保する。	文化ホール入場者数 42,000人	後年度発現シートにて検証	文化ホール入場者数 34,767人	◎
11 南城市	R2		6 ②	奥武区文化振興施設整備事業	後年度	R5	奥武区における伝統行事、芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。 今年度は、基本設計を作成する。	地域の文化関連イベント等の開催 15回以上 施設利用者 800人以上 (施設利用者アンケートによる)奥武区の伝統文化等に対する認識の向上が図られた割合 80%以上	後年度発現シートにて検証	・地域の文化関連イベント等の開催 ・施設利用者数 ・(施設利用者数アンケートによる)奥武区の伝統文等に対する認識の向上が図られた割合	◎
11 南城市	R3		3 ①	低炭素なまちづくり推進事業	後年度	R5	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	(大里中学校グラウンド)屋外照明LED化によるCO2削減量 13.2t/年 削減(R5成果目標) (南城市文化センター)照明設備LED化によるCO2削減量 49.7t/年 削減(R6成果目標) (南城市文化センター)空調機器の改修によるCO2削減量 27.48t/年 削減(R7成果目標)	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	(大里中学校グラウンド)屋外照明LED化によるCO2削減量 13.2t/年 削減(R5成果目標)	◎
11 南城市	R2		1 ⑤	インバウンド受入環境整備事業	未検証	R5	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。	南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	後年度発現シートにて検証	南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	◎
11 南城市	R4		1 ②	第2次南城市観光振興計画検証調査	後年度	R5	第2次南城市観光振興計画の取組の効果を検証するため、中間評価として、本市の観光振興における進捗状況の確認、見直しを行う。	【R5成果目標】 一人当たりの観光消費額:16,000円	後年度発現シートにて検証	一人当たりの観光消費額:16,000円	◎
11 南城市	R4		2 ④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	後年度	R5	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携や、ICT活用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保障することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	【R5成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	授業が分かりやすかったと回答した割合:96.4%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
11 南城市	R4		5	① 佐敷海岸海辺のまちづくり推進事業	後年度	R5	佐敷海岸にある、人工海浜、マリナー跡地や静穏な海域を利用した海洋性レクリエーションなど、海辺を活用したまちづくり構想を策定する。	【R5成果目標】 関係機関(県、市)による新たな活用及び整備に向けた協議:2回	後年度発現シートにて検証	関係機関(県、市)による新たな活用及び整備に向けた協議:2回	◎
12 国頭村	R3		1	① スポーツコンベンション観光振興事業	後年度	R5	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	合宿誘致件数:56件以上	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	合宿誘致件数:36件	未
12 国頭村	R4		5	① 多自然川づくり事業	後年度	R5	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	-	-
14 東村	R4		9	① 環境保全・ネコの適正飼養推進事業	後年度	R5	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、本村における飼いネコ及び飼い主不明ネコの実態調査を実施する。	ネコの捕獲数60頭	現年事業に併せて検証	ネコの捕獲数60頭	◎
15 今帰仁村	H29		2	4 今帰仁城跡周辺環境整備事業	後年度	R5	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を図ることにより、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要な施策である。今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。	供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(70%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	-	-
15 今帰仁村	R3		2	④ 今帰仁城跡周辺環境整備事業	未検証	R5	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(70%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	実施(整備率、目標:73.8%、実績72.7%)	○
15 今帰仁村	R3		2	⑧ 今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	後年度	R5	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光である。宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	◎
15 今帰仁村	R3		2	⑧ 今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	未検証	R5	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光である。宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	◎
15 今帰仁村	R4		2	⑧ 今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	未検証	R5	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光であることから、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	【R5年度】 ・宿泊体験プログラムの販売5件 ・連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	・体験プログラム販売件数 1件 ・連泊3泊以上の村内宿泊観光客 65人	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
16 本部町	R4		2 ④	もとぶ農産物産地形成事業	後年度	R5	病害虫を防除し、灌水環境の課題を解決するため、パイプハウス施設に灌水設備等の付帯設備を加えた一体的な整備に対する支援を行い、農産物出荷量の向上を図る。	【R5成果目標】 ピーマン収穫量8,600kg以上(10aあたり)	後年度発現シートにて検証	【R5年度】 ピーマン収穫量3,523kg(10aあたり)	未
17 恩納村	R4		1 ④	赤間野球場電光掲示板整備事業	後年度	R5	野球場電光掲示板の機能拡張を実施し、プロ野球等キャンプや大会等の受け入れ体制の確保やそれに伴う観光誘客を図る。	プロ野球等のキャンプ及び自主トレーニング、大会等の受け入れ件数:6件	後年度発現シートにて検証	プロ野球等のキャンプ及び自主トレーニング、大会等の受け入れ件数:8件	◎
19 金武町	R3		1 ④	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	後年度	R5	金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増を図るため、周辺環境整備等の機能高度化を実施する。	スタジアム利用者数:13,035人/年 プロキャンプ時等の観客数:19,870人/年	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	スタジアム利用者数:13,035人/年 プロキャンプ時等の観客数:19,870人/年	◎
20 伊江村	H30		10 ③	伊江村観光漁業コンテンツ開発事業	後年度	R5	伊江村魚類養殖場を活用した、新たな観光漁業のコンテンツ導入を図り、豊かな資源を活用した漁業振興の向上を図る目的として基本計画を策定する。	基本方針を踏まえて、養殖場出荷額等に漁業振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした運営を実施する。	後年度発現シートにて検証	養殖場出荷額	未
20 伊江村	H30		5 3	伊江村観光危機管理計画策定事業	未検証	R6	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。	【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画を策定した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－
20 伊江村	R3		9 ①	伊江村墓地団地造成事業	後年度	R5	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成実施設計を行う。	・個人墓から村営墓地団地への契約件数:5件	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－
20 伊江村	R3		13 ①	伊江村防災体制機能強化事業	後年度	R5	公民館等の収容避難所施設の窓ガラスに飛散防止フィルムを設置し防災機能の強化を図ることで、住民が安心して暮らせる環境整備を行う。	・飛散防止フィルムを設置した各施設における災害時の窓ガラスの飛散件数:0件	後年度発現シートにて検証	飛散防止フィルムを設置した各施設における災害時の窓ガラスの飛散件数(供用開始のR4を対象):0件	◎
20 伊江村	R4		7 ①	伊江村循環型農業促進事業	後年度	R5	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。	堆肥製造量 R5:2,500t R6:3,000t	後年度発現シートにて検証	堆肥製造量	◎
20 伊江村	R4		8 ①	伊江島の歴史・保存継承事業	後年度	R5	復帰前後を知る、村民や関係者にインタビューを行うとともに、次代を担う児童・生徒の演劇や創作の歌などを収録し、映像化を行う。 また、沖縄復帰50周年に係る詩などを作成し、復帰記念イベントを通して発信・普及させることで、若い世代が歴史に触れ、学び、継承していく機会を作る。	・復帰当時の伊江村の状況についての理解度80%以上	R4年度検証シートで後年度効果発現成果目標を検証済	・復帰当時の伊江村の状況についての理解度80%以上	◎
21 読谷村	R3		3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	後年度	R5	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。 今年度は用地を購入する。	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
23 北谷町	R3		1	① 北谷町観光物産プロモーション事業	後年度	R5	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	修学旅行受入強化業務後1年目(令和4年)の目標を以下のとおりとする。 ・R04年:修学旅行受入件数122校以上	後年度発現シートにて検証	修学旅行受入件数:77校	未
23 北谷町	R3	繰	1	③ サンセットビーチ改良事業	未検証	R5	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	サンセットビーチ年間利用者数330,000人	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	年間利用者数:138,905人	未
23 北谷町	R3	繰	1	④ パークゴルフ場整備事業	後年度	R5	砂辺地区の観光地形成遅れの対策として、新たなアクティビティの創出による観光誘客及び住民の健康増進を図るため、パークゴルフ場を整備する。	・パークゴルフ場年間利用者数15,000人 ※パークゴルフ場利用者数を成果目標として設定。 町内9,000人/年 町外6,000人/年 ・パークゴルフ利用者に健康に対する意識が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	後年度発現シートにて検証	パークゴルフ場年間利用者数:6349人	未
24 北中城村	H29		4	3 農を活かした北中城活性化事業	後年度	R5	耕作放棄地の解消や農業従事者不足の解消を図り、持続性のある農業を確立するため、水耕栽培の実証実験を実施するとともに、バイオガス発電設備が機能を発揮しうるか検証するための調査を行う。また、健康長寿等の活動支援施設及び農業を活用した周辺環境整備に関する村づくりの基本構想・基本計画の策定を行う。	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	後年度発現シートにて検証	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	未
24 北中城村	H30		1	⑫ 多言語観光案内サイン整備事業	後年度	R5	大型商業施設開業、クルーズ船寄港により増加する外国人観光客の利便性・安全性の向上を図るとともに、観光スポットへ誘導し、本村を周遊することを目的に多言語観光案内板を設置する。	外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方についてアンケート調査により検証する。	後年度発現シートにて検証	【R4未検証】 多言語案内板等の設置により、主要観光施設への外国人観光客の来場者数の推移を基に、利便性の向上が図られたかどうか検証していく。(令和4年度)	未
24 北中城村	H30		4	③ 農を活かした北中城活性化事業	後年度	R5	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品の試作開発や市場性等の検証を行う。 また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥等を再生可能資源(食物残渣)で賄うための実証実験に向け、設備・装置の構築(製作)検討を図り、設備・装置の導入及び実証実験の実施に向けた基本プランの策定を行う。	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	後年度発現シートにて検証	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	未
24 北中城村	R1		4	③ 農を活かした北中城活性化事業	後年度	R5	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品(試作品)のテスト販売等を行うことで、市場性等の検証を行う。また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化実証に向けた基本設計及び実施計画を策定する。	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	後年度発現シートにて検証	民間によるバイオガス発電設備設置数:2件	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
24 北中城村	R2		1	⑧ 多言語観光案内サイン整備事業	後年度	R5	外国人観光客の利便性・安全性の向上を図るとともに、観光スポットへ誘導し、本村を周遊することを目的に多言語観光案内板を設置する。	外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方についてアンケート調査により検証する。	後年度発現シートにて検証	【R4未検証】 多言語案内板等の設置により、主要観光施設への外国人観光客の来場者数の推移を基に、利便性の向上が図られたかどうか検証していく。(令和4年度)	未
24 北中城村	R2		4	③ 農を活かした北中城活性化事業	後年度	R5	水耕栽培実証実験施設の事業施設化に向けた仕様の策定とその水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化に向けた施設の仕様を策定する。	民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:2件	後年度発現シートにて検証	・民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:2件(令和5年度)	未
24 北中城村	R2		4	④ 農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	後年度	R5	耕作放棄地の再生に向けて、循環型農業ゾーンと体験農園施設ゾーンを整備するため、民間事業者が継続して営農するための収支見通しの策定を行うとともに、民間事業者の誘致を図る。	循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの実現として、再生可能資源を活用してエネルギーを生産し、コンテナ式水耕施設(40F)の稼働と200坪程度の園芸施設に供給を図る。:20万kWh/年	R4年度検証シートで後年度効果発現成果目標を検証済	循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの実現として、再生可能資源を活用してエネルギーを生産し、コンテナ式水耕施設(40F)の稼働と200坪程度の園芸施設に供給を図る。:20万kWh/年(令和4年度)	未
24 北中城村	R3		2	③ 喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	後年度	R5	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を推進するため、跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討及び地権者意向調査を実施する。	跡地利用検討に対する地権者や村民等へのアンケート調査の実施により本事業の在り方を検証する。 :肯定的な評価80%以上	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	【R4年度未検証】 跡地利用検討に対する地権者や村民等へのアンケート調査の実施により本事業の在り方を検証する。 :肯定的な評価80%以上	未
24 北中城村	R3		4	③ 農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	後年度	R5	耕作放棄地の再生に向けて、医食同源・農福連携・健康長寿への取組みに資するエリアを整備する。	耕作放棄地の利活用:3,110㎡	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	耕作放棄地の利活用:3,110㎡(令和5年度)	未
24 北中城村	R4		6	① 歴史まちづくり計画策定事業	後年度	R5	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。	住民アンケート:策定した計画について、歴史情緒あるまちづくりが期待できると答えた割合80%以上	繰越等事業の進捗遅れのためR7年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	-	-
25 中城村	H29		5	5 中城村地域多世代交流活性化事業	後年度	R5	組踊等の文化活動・継承等の場として活用されている施設の環境改善を図るため、空調整備を行う。	文化活動・継承の場としての環境改善が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	-	-
25 中城村	R4		2	① 吉の浦公園等施設機能強化整備事業	後年度	R5	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①R5年間利用者数 6,000名 ②放送設備の整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	①R5年間利用者数 5,235名 ②施設利用者が利便性が向上したと回答した割合:84%	○
25 中城村	R4		5	② 文化財整備事業	後年度	R5	村指定文化財「県道開削記念碑」の保存工事、令和3年度に新規指定した村指定文化財「安里のムラガー」「伊舎堂のマーチューグラー」へのサイン設置、劣化の著しい「伊舎堂のマーチューグラー」の保存工事に向けた調査設計を実施する。	「県道開削記念碑」「安里のムラガー」の見学者 各100人	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	「県道開削記念碑」「安里のムラガー」の見学者 各150人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価	
									要記入			
26 西原町	H29		7	1	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	【令和5年度成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
26 西原町	H30		6	①	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	【令和5年度成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
26 西原町	R1		6	①	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	【令和5年度成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
26 西原町	R2		6	①	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	【令和5年度成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
26 西原町	R3		4	①	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	【令和5年度成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
26 西原町	R4		4	①	里道及び水路の境界確定復元事業	後年度	R5	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界確定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	小那覇地区の境界画定測量:完了	◎
27 与那原町	R1		9	①	与那原町健康づくり支援環境整備事業	後年度	R5	健康な体をつくり、健康・長寿を達成するために、与那古浜公園内の施設整備を行う。	年間利用者数:1,910人	繰越事業に併せて検証(繰越シート記載)	年間利用者数:8,100人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
27 与那原町	R2		7	新しい公共交通検討事業	後年度	R5	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	需要や課題等の実態把握 未完了	未
27 与那原町	R3		6 ①	新しい公共交通検討事業	後年度	R5	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	需要や課題等の実態把握 未完了	未
28 南風原町	H30		4 3	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	未検証	R5	北丘小学校は災害時の避難所として指定されているが、避難通路となっている小学校の西側に面している階段は築30年以上経過しており、通路や法面に滑りが見られコンクリート舗装や擁壁に亀裂などを起こしている。そのため避難通路として、安全に活用できるよう整備を行う。	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	後年度発現シートにて検証	避難訓練1回実施	◎
28 南風原町	R4		5 ⑤	文化財活用事業	未検証	R5	町文化財を活用した歴史の継承及び観光誘客を図るため、町指定文化財を紹介する標柱及び解説板を整備する。	アンケート調査により、「文化財についての理解が解説板により深まった」との回答の割合(70%)	後年度発現シートにて検証	アンケート調査により、「文化財についての理解が解説板により深まった」との回答の割合:90%	◎
29 渡嘉敷村	R4		1 ⑤	安心安全な村づくり推進事業	未実施	R5	持続可能な観光地の形成に向けて、村内の防犯灯が無い暗い道にLED防犯灯を設置し観光客の回遊性を高めることで、夜間においても安心安全が確保された離島特有な閑静な町並みが広がる観光地として、新たな滞在型観光客の誘致を図る。	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)の安心さ・安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		－
30 座間味村	R1		1 ⑨	座間味村観光イベント施設整備事業	後年度	R5	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	イベントへの参加者数(観光客):5,040人	後年度発現シートにて検証	イベントへの参加者数(観光客):2,747人	未
30 座間味村	R3		1 ⑥	座間味村観光イベント施設整備事業	後年度	R5	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	イベントへの参加者数(観光客):5,040人	後年度発現シートにて検証	イベントへの参加者数(観光客):2,747人	未
30 座間味村	R3	繰	1 ⑦	阿嘉地区観光道路整備事業	後年度	R5	観光客の多様なニーズに対応するため、地域特性を活用した魅力ある山林観光道路を整備する。	阿嘉島観光客の10%以上が本道路を利用することを目標とし、アンケートにより把握する。	後年度発現シートにて検証	アンケート未実施	未
30 座間味村	R3	繰	1 ⑤	座間味村ウェルカム・パーク整備事業	後年度	R5	座間味港背後地において、環境省による博物館施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウェルカム・パーク」を整備する。	阿嘉島観光客の10%以上が本道路を利用することを目標とし、アンケートにより把握する。	後年度発現シートにて検証	アンケートより、憩い、交流の場として活用出来たとの回答:76.8%	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
31 粟国村	R2		3 ④	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業	未検証	R5	慰霊碑関係者の高齢化及び減少が急速に進行する中で、沖縄戦の歴史を後世に伝え続け、平和の大切さを育むことを目的とし、慰霊碑の環境整備を行う。	・小中学校生徒へのアンケートにて「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上を含め小中学校へのアンケートにより本事業の在り方について検討する。 ・慰霊祭出席者へのアンケートにて「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上を含め慰霊祭出席者へのアンケートにより本事業の在り方について検討する。	後年度発現シートにて検証	・小中学校生徒へのアンケートにて「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」の回答:100% ・慰霊祭出席者へのアンケートにて「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」の回答:87%	◎
31 粟国村	R3		3 ④	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業	後年度	R5	慰霊碑関係者の高齢化及び減少が急速に進行する中で、沖縄戦の歴史を後世に伝え続け、平和の大切さを育むことを目的とし、慰霊碑の環境整備を行う。	・小中学校生徒へのアンケートにて「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上 ・慰霊祭出席者へのアンケートにて「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上	後年度発現シートにて検証	・小中学校生徒へのアンケートにて「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」の回答:100% ・慰霊祭出席者へのアンケートにて「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」の回答:87%	◎
32 渡名喜村	H28	繰	3 1	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	未検証	R5	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設等からなる多目的拠点施設を整備する。	(子ども預り所) 育児に関する負担が軽減されるなど、子育て環境が充実したと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、事業のあり方について検証する。 (老人福祉施設) 施設来場者数 2,351人以上/年	後年度発現シートにて検証	施設来場者数:1299人	未
32 渡名喜村	R1		7 ①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	後年度	R5	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	歴史民俗資料館 年間利用者数 1,100人	後年度発現シートにて検証	年間利用者数:568人	未
32 渡名喜村	R3	繰	5 ①	渡名喜村防災行政無線デジタル化整備事業	後年度	R5	旧方式のアナログ放送からデジタル放送の更新を図ることで、災害情報及び防災情報等の防災情報伝達体制を強化し、村民や観光客に安心・安全な生活環境を整える。	村民や観光客が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	後年度発現シートにて検証	避難訓練実施アンケート100%	◎
33 南大東村	H30	繰	5 ①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	後年度	R5	本村には、葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合型施設を整備し、葬儀に係る住民の負担軽減を図る。	複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。	後年度発現シートにて検証	火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合:100.0%	◎
33 南大東村	R1	繰	5 ①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	後年度	R5	各自宅で行われている葬儀等の負担軽減を図るため、葬祭場等の複合施設を整備する。	複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。	後年度発現シートにて検証	火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合:100.0%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価	
									要記入			
33 南大東村	R3	繰	4	1	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	後年度	R5	本村には、葬祭場がなく、葬儀に関しては各家庭で行う習慣があるが、近年は集合住宅での定住者も増えており、時代的な背景や生活形態の変化から簡易葬祭場の整備が望まれている。併せて納骨堂の整備や待合室、駐車場など一体的な複合施設を整備することにより利用者への利便性の向上と管理コストの低減が図られるため複合型施設整備に向けた基本計画を策定する。	複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。	後年度発現シートにて検証	火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合:100.0%	◎
33 南大東村	R3	繰	2	②	観光案内看板整備事業	後年度	R5	観光案内の看板が未整備で、観光地への誘導が不十分であることから、各所に案内看板を設置し観光客の受入環境を整備する。	利便性が確保できているか、観光客へアンケートを実施し、満足度80%	後年度発現シートにて検証	アンケート結果:84.0%	◎
33 南大東村	R4		6	①	南大東小学校社会科副読本編集事業	後年度	R5	村独自の社会科副読本を作成し、地域に根差した社会科学習を行うことにより、次世代を担うことも達へ村の歴史・文化の継承を図る。	年度ごとに実施するアンケートで、「授業を受ける前と比べて地域の理解が進んだ」と回答した児童の割合が80%以上	後年度発現シートにて検証	アンケート結果:89.2%	◎
34 北大東村	R2	繰	5	①	北大東村水産業施設等海水供給施設整備事業	未検証	R5	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	(R4年度) ・鮮魚の島外出荷量 41.1t以上/年	繰越事業に併せて検証(繰越シート記載)	(R4年度) ・鮮魚の島外出荷量 59.8t/年	◎
35 伊平屋村	R2		1	⑥	ポートターミナル機能強化事業	後年度	R5	島の玄関口である前泊港ポートターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観および施設の利便性向上を図る。	伊平屋村ポートターミナルビル等改修工事設計業務委託、電源供給改修工事、仮設建設実施設計業務委託の完了	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	当初、R4年度の沖縄振興特別推進交付金事業費の特別枠を活用した施設機能強化を予定していたが、予算配分の影響から特別枠の見送りにより事業を一時中断しており、R4年9月末沖縄離島活性化推進事業費補助金の活用により、施設の機能強化事業を行った。しかし、R5年度に繰越ししR6年3月31日完成予定としていたが、事故繰越しにより工期を延長しR6年7月末に施設の事業が完了した。このことからR5年度の効果発現による検証の取り組みが行えなかったため、R6年度の施設利用により効果の検証を延長とする。	-
35 伊平屋村	R3	繰	3	⑥	学校給食機能強化事業	後年度	R5	学校給食の安心安全で安定的な提供を行い、児童生徒の心身の健康保持を支援するため施設のドライ運働化と機能強化を図る。	実施設計業務の完了、給食配送車の整備	繰越等事業の進捗遅れのためR6年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年	R3年度実施設計完了後に、特別枠を活用して施設の機能強化を予定していたが、国による沖縄振興予算の減額等の背景を受け、特別枠の見送りにより施設の機能強化が実施できていないため効果の検証を見送りしているため。	-
35 伊平屋村	R4		1	④	観光振興基本計画策定事業	後年度	R5	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくため、「伊平屋村観光振興基本計画」を策定する。	・入域観光客数 17,700名以上	後年度発現シートにて検証	入域観光客数:22,360名	◎
35 伊平屋村	R4		3	⑧	伊平屋村電子黒板ICT整備事業	後年度	R5	村内小中学校及び各区公民館にICT機器を整備し、学習の基盤となる情報活用能力及び主体的な学びの意欲を向上させ、学びの深化を図る。	児童生徒のICT機器を活用し主体的な学習意欲の向上が図られた値としてアンケート調査(80%以上)	後年度発現シートにて検証	児童生徒のICT機器を活用し主体的な学習意欲の向上が図られた値としてアンケート調査:90%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									裏記入		
37 久米島町	R1		3	④ 久米島町観光危機管理体制構築事業	未検証	R5	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	避難訓練を実施し、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合 80%以上	後年度発現シートにて検証	避難訓練を実施し、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合 56%	未
37 久米島町				子育て支援事業	未検証	R5	町民や観光客等が安心して遊べる場所を提供し、利便性の確保を図るため、公園(児童遊園)を整備する。	アンケート調査により「当該施設の整備により利便性が確保されたか」の割合 80%以上	後年度発現シートにて検証	アンケート調査により「当該施設の整備により利便性が確保されたか」の割合 84.3%	◎
37 久米島町	R3	繰	1	④ 冷蔵コンテナ導入事業	後年度	R5	島の農産物が気温に左右されず安定して供給できる体制を構築するため、冷蔵コンテナを導入し、出荷体制機能強化を図る。	冷蔵コンテナ導入完了 電気工事完了	R4年度検証シートで後年度効果発現成果目標を検証済		－
37 久米島町	R4		3	④ 久米島観光ブランディング事業	後年度	R5	久米島観光の「ブランド化」を進め、観光資源の高質化と高付加価値化を図るとともに、効率的な情報発信を行う。	・一人当たりの観光消費額 食事・お酒 12,851円 ・一人当たりの観光消費額 お土産・買い物 8,329円	現年事業に併せて検証(現年シート記載)	・一人当たりの観光消費額 食事・お酒14,135円 ・一人当たりの観光消費額 お土産・買い物8,957円	◎
38 八重瀬町	R4		5	2 具志頭運動公園健康増進機能強化事業	後年度	R5	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	【R5成果指標】 ・年間利用客数6千人の増加 ・生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	後年度発現シートにて検証	・5,965人 ・88%	◎
39 多良間村	R3	繰	6	① 多良間村トゥブリ道整備事業	後年度	R5	トゥブリ道を整備して、多良間島の青い海を村民はもとより観光客の親水の間として活用し、観光振興に繋げる。また、トゥブリ名の標柱を設置し貴重な生活文化の遺産として残し、児童生徒の郷土学習の場とする。	①多良間を訪れる観光客数:10,825人 ②住民へアンケートを行い、「多良間村の歴史・文化への理解が深まった(80%)」について、事業の効果を検証する。	後年度発現シートにて検証	①観光客数:9,437人 ②未実施	未
40 竹富町	H29		2	5 西表東部公園整備事業	未検証	R5	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設の在り方をアンケートで検証する。	後年度発現シートにて検証	施設利用者満足度:91.1%	◎
40 竹富町	H30		1	⑧ 西表東部公園整備事業	未検証	R5	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	【R4成果目標】 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	後年度発現シートにて検証	施設利用者満足度:91.1%	◎
40 竹富町	R1		1	⑥ 西表東部公園整備事業	未検証	R5	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	【R4成果目標】 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	後年度発現シートにて検証	施設利用者満足度:91.1%	◎
40 竹富町	R2		1	① 西表東部公園整備事業	未検証	R5	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	【R4成果目標】 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	後年度発現シートにて検証	施設利用者満足度:91.1%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R5年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	実施年度	繰越	事業番号	事業名	検証年度	効果発現年度	事業内容	成果目標(指標)	検証状況	R5年度成果実績(指標)	評価
									要記入		
40 竹富町	R2	繰	1 ④	複合型福祉施設整備事業	後年度	R5	保護者の育児負担の軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	(保育所機能) 本事業について、保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (幼稚園機能) 本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する (高齢者交流機能) 介護認定率20%以下	後年度発現シートにて検証	(保育所機能) 保護者へアンケート調査→未実施 (幼稚園機能) 保護者へアンケート調査→未実施	未
40 竹富町	R3		1 ①	西表東部公園整備事業	未検証	R5	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	後年度発現シートにて検証	施設利用者満足度:91.1%	◎
40 竹富町	H29		1 5	干立地区防災機能改善事業	未検証	R5	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、地域住民および滞在者の安全性と利便性を確保する。	整備完了後の目標を以下のとおりとする。 ①整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ②避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	後年度発現シートにて検証	・避難訓練未実施 ・アンケート未実施	未
41 与那国町	R3		3 ①	家庭学習支援モデル事業	後年度	R5	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、ICT機器を活用した授業を行い、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生国語:-1.0ポイント以内 小学生算数:-0.8ポイント以内 中学生国語:+1.6ポイント以上 中学生数学:-1.9ポイント以内	後年度発現シートにて検証	全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生国語:-0.2ポイント 小学生算数:0ポイント 中学生国語:-4.5ポイント 中学生数学:-12.5ポイント	△
41 与那国町	R3	繰	6 ②	与那国町国境結節点化推進事業	後年度	R5	1. 祖納港、久部良港の港湾使用手続きのためのサンプル申請書類等の作成 2. C・I・Q臨時設置手続き要件の整理、配置計画書の作成等 3. 船舶代理店との契約協議 4. 乗船・下船時の誘導路確保・導線計画および警備員配置計画 5. 海上保安庁手続のためのサンプル必要書類作成 6. 船舶調達のための調査 7. 港湾区域等衛生管理調査実施計画の作成 8. 令和4年度以降の社会実験実施計画書の作成 9. C・I・Q合同会議の運営支援、打合せ協議等、取り纏め報告書作成	実証実験参加人数、日本側から一航海150人	繰越等事業の進捗遅れのためR7年度に検証実施※シート提出・公表はその翌年		-